

第7回 館山南房総認知症市民フォーラム 開催

日時：2017年10月1日(日)13時00分～16時00分

場所：千葉県南総文化ホール 小ホール

10月1日(日)千葉県南総文化ホール（千葉県館山市北条740-1）にて、安房地域の認知症を考える会主催による、「認知症の人が地域で暮すために いま私ができること」をテーマにした市民フォーラムが開催された。300人近くが来場し、各演者の話やディスカッションに真剣に耳を傾けていた。今年で7回目となる今回は、認知症カフェの代表の他、南房総市保健師、地域包括支援センターの職員も出演者として参加。テーマに対し専門家からの見解を述べたり、来場した一般の方々を交えたディスカッションを行った。

認知症患者数が増え続ける昨今、早期発見、早期対応に繋げることを主な目的とした「認知症初期集中支援チーム」について袖ヶ浦さつき台病院 認知症疾患医療センター長 細井尚人氏の講演により幕を上げた。その後は、テーマを基にインフォーマルサービス（公的サービスや専門職によるサービス以外のもの）について、認知症カフェつむぎ（岡山歯科医院）岡山貢一氏、南房総市健康支援課 主査（保健師）石井恵里子氏、館山市地域包括支援センター いちご 上野澄子氏がそれぞれ、認知症カフェ、曲げダルマップ、キャラバンメイト・メモリーウォークなどについて、実体験を踏まえた活動内容を話した。後半のディスカッションでは、認知症の中核症状、BPSD（行動心理症状）について、症状例を視聴した後、出演者同士の討論から始まり、来場した一般の方々にもマイクを向けてディスカッションを行った。一般の方からは「認知症の本人は辛い、自宅で介護をする家族も辛い。その家族の援助を行うような場所はあるのか」といった具体的な質問も挙がり出演者が回答した。

【司会】

医療法人社団慶勝会 理事長 田中耕一

【出演者】

医療法人社団桂 七浦診療所 院長 田中かつら

袖ヶ浦さつき台病院 認知症疾患医療センター長 細井尚人

認知症カフェつむぎ代表（岡山歯科医院）岡山貢一

南房総市保険福祉部健康支援課 主査（保健師）石井恵里子

館山市地域包括支援センターいちご 管理者 上野澄子

当日の会場の様子

